ユピテル工業株式会社
YUPITERU

テレコントロールエンジンスターター

VE-E40

ドアロック/アンロック機能付き

取扱説明書

このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車
- 適合する車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック（AT）車
- キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- 12V車で、⊖アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。
- マニュアル（MT）車には絶対に取り付けないでください。
  ギアが入った状態でもエンジンが始動するため、無人で動き出し、死亡、重傷などの重大事故の原因となります。

主な特長

■電波到達距離(直線見通し)3,000mを実現

アンプ内蔵受信アンテナの採用により、電波の到達距離が直線見通しで3,000m(当社実験値)と大幅に向上しました。さらに遠く離れた場所からリモコン操作でエンジンの始動・停止ができます。また郵政省の定めた特定小電力無線局の技術基準に適合したテレコントロールシステムで、免許手続きなどの必要がなく、どなたでもすぐにご使用になれます。

※ 妨害電波の少ない見通しのよい場所(河川道路)での実験値(2,000m〜最大3,000m)です。市街地、住宅地では直線見通し約300m(300m〜700m)を目安としてください。

※ 電波の届く距離は、地形・建物などの条件により変化します。

■万一の事故を防止する充実の安全機能

本機により、エンジンを始動させるときや始動した後に、さまざまな安全機能が働き、万一の事故を防止します。

① エンジン自動停止機能：本機でエンジン始動した後、設定した時間が経過するとエンジンが自動的に停止します。

② P・ポジション自動検出：シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動はできません。また本機でエンジンを始動させた後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが自動的に停止します。

※ 一部の車輌では、P・(パーキング)ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。この場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。(接続しないと、本機は動作しません)
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケーターランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

③ ドア開閉検出：ドアを閉めた状態でエンジンを始動した後、ドアを開けると、ドアの開閉を検出して、エンジンが自動的に停止します。(ドアスイッチの配線を行った場合)

④ ボンネットオープン検出(オプション対応)：ボンネットを開けると、エンジンが自動的に停止します。またボンネットが開いていると、エンジンの始動はできません。(ボンネットセンサーを取り付けた場合)

⑤ リトライ機能：1回でエンジン始動できなかったときに、再始動を自動的に2回まで繰り返します。

⑥ コンライトキャンセル機能(オプション対応)：オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリーあがりを防ぎます。(別売のA-60を使用して、コンライト出力をドア開閉検出線と結線した場合)

■ドアロック/アンロック機能

離れた場所から、リモコン操作で車のドアの施錠・解錠ができます。

※ ドアロック/アンロック機能は、車種ごとにコントロール方法が異なり、使用できない場合もあります。また車種により、別売のドアロックリレーアダプターが必要になる場合があります。

■誤動作を防ぐIDコード

1億通りの中から商品ごとに個別のIDコードを設定。他の電波による誤動作を防止します。

■ターボタイマー機能

走行時間に合わせて、走行後のアフターアイドリングを自動的に行うことができます。

※ P・ポジションを自動検出できない車輌の場合は、P・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。(フットブレーキへの接続では動作しません)

■スリープ機能

車を使用しない状態が10日以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が動作すると、本機による始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。

ご使用の前に(安全上のご注意)

次ページに続く

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠**警告**：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠**注意**：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠ 警告

- ❗ **シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する**…思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- ⊘ **車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない**…発火の恐れがあります。
- ⊘ **車のボディカバーをかけたまま使用しない**…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- ⊘ **お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない**…室内はキーでONした場合と同じ状態になり、大変危険です。
- ❗ **リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する**…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。
- ⊘ **換気の悪い車庫や屋内では、使用しない**…排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- ❗ **必ずボンネットが閉まっている状態で使用する**…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- ⊘ **暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない**…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- ⊘ **煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない**…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- ❗ **万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する**…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- ⊘ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない**…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずスイッチユニットのメインスイッチを「OFF」にする

- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき
- 万一、リモコンを紛失したとき

走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はスターターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

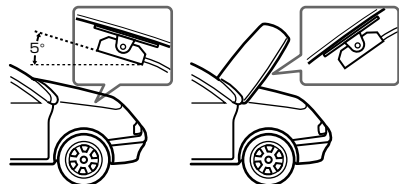
車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

むやみに操作ボタンを押さない…
リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

あらかじめ駐車時には以下のことを守る

- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)を切ってください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。
  また凍結した場合、モーターが損傷する恐れがあります。
- 全ての窓を閉めてください。
- 全てのドアを施錠(ロック状態)してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。

ボンネットセンサー(別売)は、ボンネットを閉めた状態で前下がりに、開けると後ろ下がりになるように取り付け角度が調整されていないと正しく動作しません。ボンネットを閉めたとき、水平に対して約5°前下がりになるように調整してください。(センサーは±45°の範囲で調整可能です。)

※取り付けは水平な場所で行ってください。
※駐車場が傾斜地にある場合は、その場所の傾斜に合わせて取り付け角度を調整してください。

ご注意 電波法に関して

■リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
■海外では使用しないでください。
■分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 本機の機能について

■**コンライトキャンセル機能を配線していない場合**
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車※で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態で本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。

※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

■**本機のドアロック/アンロック機能について**
本機のドアロック/アンロック機能は、キーでエンジン始動したときには働きません。また、本機と市販のターボタイマーを一緒に取り付けた場合のアフターアイドリング時にも、ドアロック/アンロック機能は働きません。
■他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

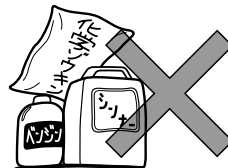
ご注意 取り扱いについて

■リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
■リモコンが雨水などで濡れないようにしてください。
■リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
■リモコンを次のような場所に放置しないでください。

- 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。

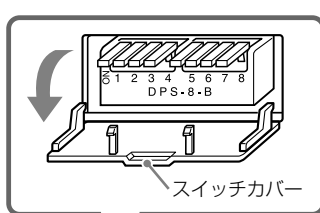
■リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。
■リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

各部の名称とはたらき

次ページに続く

ファンクションスイッチ

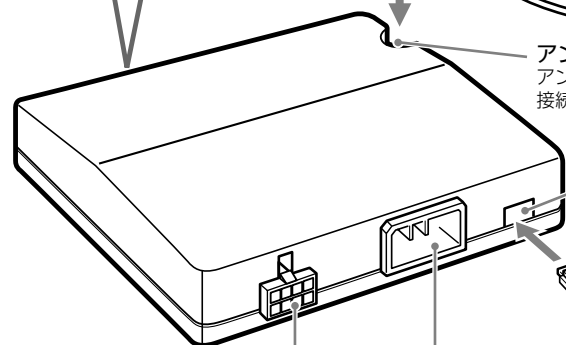
取り付ける車や使用条件に合わせて、取り付け店であらかじめ設定します。
※No.2/3以外は、取り付け店で設定したあと、触れないでください。

NO.	スイッチ機能	ON	OFF
2	アイドリング時間	ショート	ロング
3	ターボタイマー	使用する	使用しない

ON：下側
OFF：上側

アイドリング時間

	ショート	ロング
ガソリン車	10分	20分
ディーゼル車	15分	30分

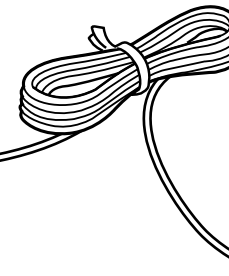
アンテナジャック
アンテナユニットを接続します。

コネクター3
スイッチユニットを接続します。

コネクター1
車種別専用ハーネス（別売）を接続します。

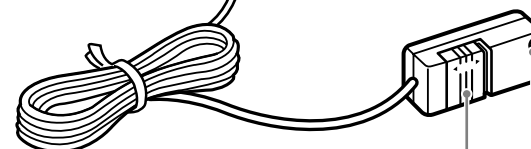
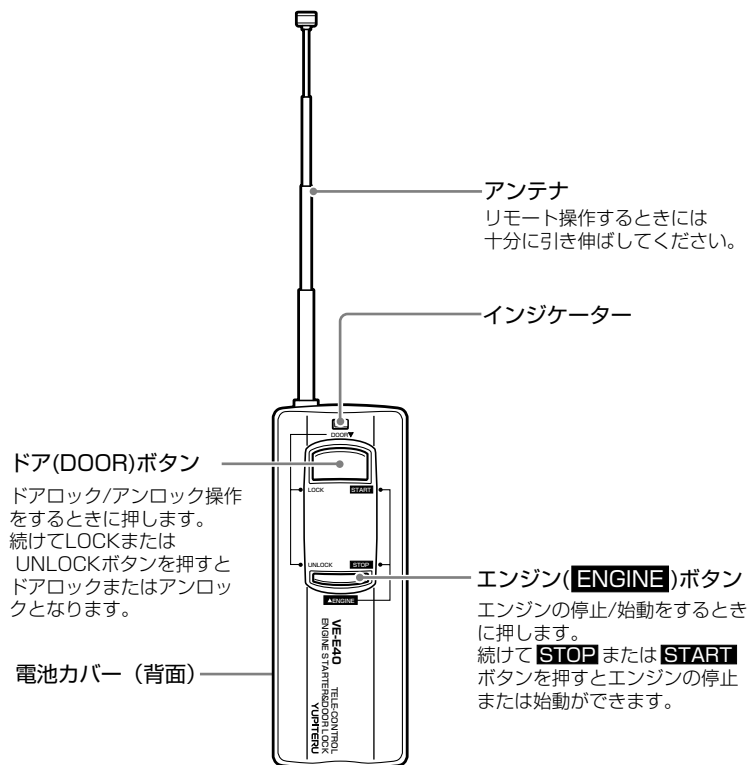
コネクター2
センサーハーネスを接続します。

センサーハーネスの各検出線により必要に応じて、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプ、ドア信号線、ドアロックスイッチに接続します。また、ボンネットセンサー（別売）やオルタネータ線（別売）を接続するときも、センサーハーネスのコネクターに端子を差し込み接続します。

※P・ポジション自動検出ができない車輌では、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプに接続しないと、本機は動作しません。このような車輌でターボタイマー機能を使用する場合は、P・ポジションインジケーターランプに接続してください。（フットブレーキへの接続では、ターボタイマー機能は動作しません）

アンテナユニット

アンテナ
リモコンから送られてくる信号を受信します。

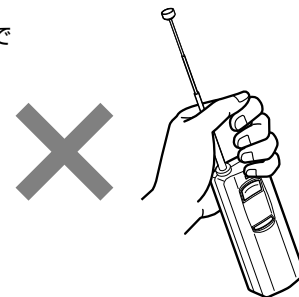
スイッチユニット

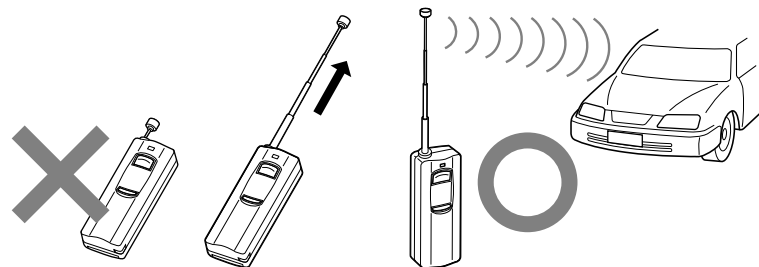
パイロットランプ
リモコンから、始動/停止の信号を受信すると数秒間点滅します。
なお、アイドリング中は点灯し、またターボタイマー動作中はアフターアイドリング時間を点滅回数で表示します。

メインスイッチ
本機を使用しないときや、車を整備や車検等でお預けになるとき、リモコンを紛失したときは必ずOFFにしてください。

リモコン

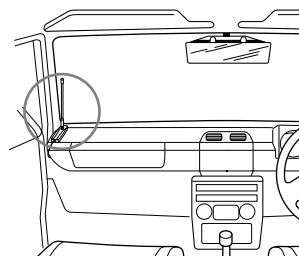
リモコンについて（上手な使い方）

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※ 電波が飛びにくくなります。

■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。

※ 斜めにして操作すると、通信距離が短くなることがあります。

■アンテナユニットは、運転中の視界の妨げとならない場所に取り付けてください。

⚠警告

取り付け店で取り付けた後、ご自分で取り付け位置を変更する場合は、運転の支障とならない場所に取り付けてください。

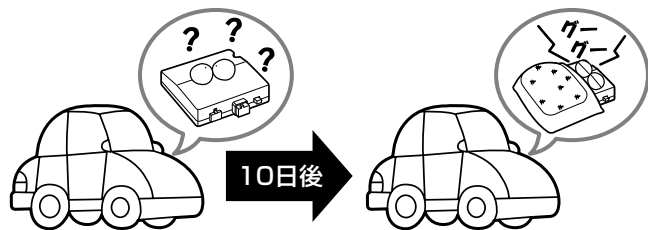
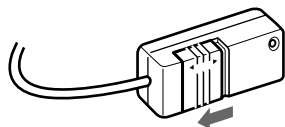
※ アンテナユニットは車体の金属部より3cm以上離れた場所に取り付けてください。（通信距離に影響します）
　また、なるべく高い位置にあるほうが、電波が届きやすくなります。

※ デフォッガー(曇り取り)およびラジオアンテナが埋め込まれたウインドウ付近に取り付けた場合は、通信距離が短くなります。

※ 外の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、それらの影響で通信距離が短くなることがあります。

※ ファンモーターなどのノイズの大きい車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときの通信距離が短くなることがあります。

スリープ機能について

車を使用しない状態が10日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。
スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。

本機を長期間使用しないときは、スイッチユニットのメインスイッチを「OFF」にしておきます。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。
このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

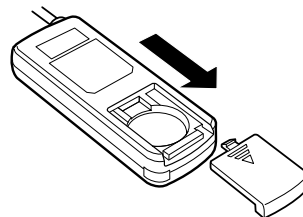
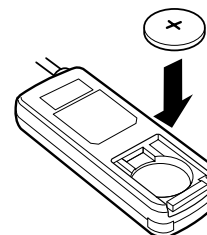
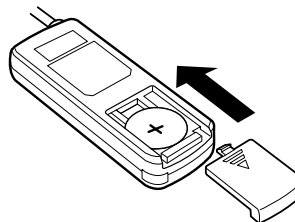
メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。

はじめに

電池の入れかた

電池交換中の誤操作を防ぐため、車に取り付けられているスイッチユニットのメインスイッチをOFFにしてから行ってください。使用するときは、メインスイッチをONにします。

1 電池カバーを開ける

2 付属の電池（CR2032）を、⊕を上にして入れる

3 電池カバーを閉める

電池の交換時期について
リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

電池寿命の目安
約1年を目安に新しい電池（CR2032）と交換してください。
※ 使用する条件によって異なります。
※ 付属の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。
※ 指定の電池（CR2032）以外は使用しないでください。

⚠警告

事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

はじめに

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。また、安全のためドア開閉検出の接続とボンネットセンサー(別売)の取り付けをおすすめします。

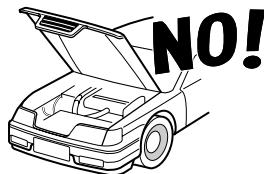
■ P･ポジション自動検出
シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※ 一部の車輌では、P･ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP･ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。(接続しないと、本機は動作しません)
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP･ポジションインジケーターランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

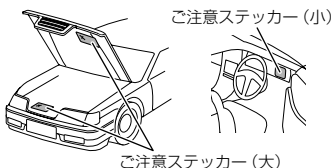
■ コンライトキャンセル機能
(別売のA-60を使用してコンライト出力をドア開閉検出線に配線した場合)
オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

■ ドア開閉検出
(ドアスイッチへの配線を行った場合のみ)
リモコンによる始動後、ドアを開けるとエンジンが停止します。(室内ランプがドアの開閉に連動して点灯・消灯しないと検出できません)

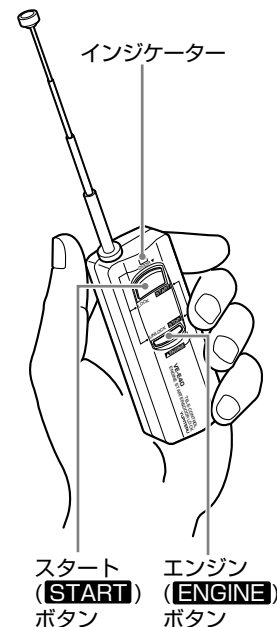
※ リモコンによる始動後、本機のドアロック/アンロック機能でアンロックした場合の1分間は、ドアを開けてもエンジンを止めません。またこの間にドアを閉めれば、アイドリングを継続します。

■ボンネットオープン検出
(別売のボンネットセンサーを取り付けた場合のみ)
ボンネットが開いていると、リモコンでのエンジンの始動はできません。また、ボンネットを開けると、エンジンが停止します。

⚠警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、スイッチユニットのメインスイッチを必ず｢OFF｣にしてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。｢ご注意ステッカー(大)｣は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、｢ご注意ステッカー(小)｣はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。

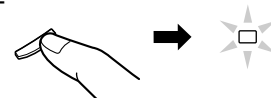
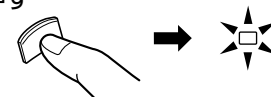
はじめに

エンジンを始動させる

次ページに続く

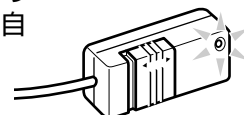
車に取り付けているスイッチユニットのメインスイッチがONになっていることを確認してください。

リモコンを操作するときは
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- アンテナに手などを触れると電波が飛びにくくなります。

メモ
- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

リモコンの操作

1 エンジン(▲ENGINE)ボタンをインジケーターが点滅するまで押す

2 インジケーターが点滅中(約2秒間)に、スタート(START)ボタンを押す

➜ インジケーターが点滅から、点灯(約1秒間)へ変わりスタート信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

3 安全機能のチェックを自動的に行う

➜ スイッチユニットのパイロットランプが数秒間点滅し、メインユニットからは確認音が鳴ります。

4 約5秒後にエンジンを始動させる

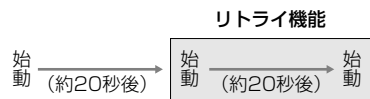
➜ 始動すると、アイドリング中はスイッチユニットのパイロットランプが点灯し、メインユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことを知らせます)
➜ 始動しなかったときは、リトライ機能が働きます。

●始動したあと、設定されている時間※が経過すると自動的にエンジンは停止します。

※10分から30分。(アイドリング時間の設定は6ページ参照)

操作する

リトライ機能について

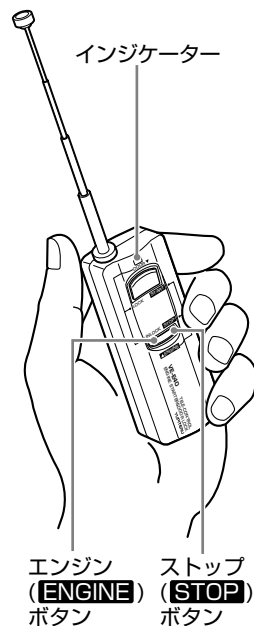
エンジンが始動しなかったときに、再始動を自動的に2回行います。

リトライ機能

※リトライ機能によっても始動しないときは、もう1度リモコン操作をやり直してください。

⚠警告

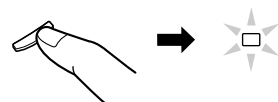
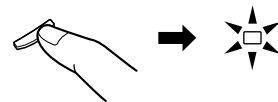
車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。
リモコンの電波は周辺環境など、条件の良いところでは遠方（3km以上）まで届くことがあります。

エンジンを停止させる

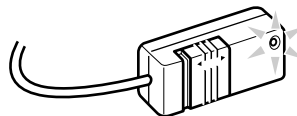
本機でエンジンを始動したときは、以下の操作でエンジンを停止（アイドリングを中止）することができます。

メモ

エンジンが始動しているときに、ファンモーターなどのノイズの大きい車や、外の無線機の近くで使用すると、それらの影響で、リモコンの通信距離が短くなることがあります。

リモコンの操作

1 エンジン（▲ENGINE）ボタンをインジケーターが点滅するまで押す

2 インジケーターが点滅中（約2秒間）に、もう１度ストップ（STOP）ボタンを押す

➜ インジケーターが点滅から、点灯（約1秒間）へ変わりストップ信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

3 エンジンが停止する

➜ スイッチユニットのパイロットランプが数秒間点滅した後、消灯し、メインユニットからの断続音は鳴りやみます。

エンジンを停止させるには
スイッチユニットのメインスイッチを「OFF」にしても、エンジンを停止させることができます。

車への乗車

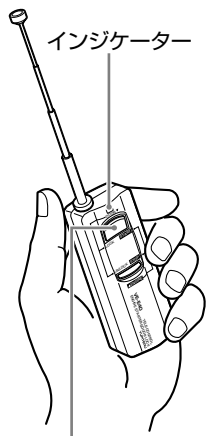
車を発車させる

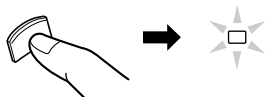
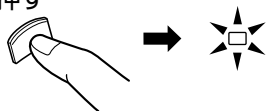
本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

キーでエンジンを始動させる

➜ 走行できます。

ドアロック／アンロックの操作

車に取り付けているスイッチユニットのメインスイッチがONになっていることを確認してください。また、ドアスイッチに接続(ドア開閉検出)している場合は、ドアを閉めてください。

リモコンの操作(ドアロック)

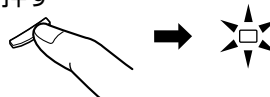
1 ドア(DOOR)ボタンをインジケーターが点滅するまで押す

2 インジケーターが点滅中(約2秒間)に、もう1度ロック(LOCK)ボタンを押す

➜ インジケーターが点滅から点灯(約1秒間)へ変わり、ドアロック信号が送信されます。

メモ

- 本機でエンジンを始動した場合や、本機のターボタイマー機能によりアイドリングしている間でもドアロック/アンロックの操作はできますが、キーでエンジンを始動したときや、市販のターボタイマーを併設使用したアフターアイドリング中には、ドアロック/アンロック機能は働きません。また、本機でエンジンを始動後、エンジンキーをON にした場合、本機のアイドリング時間(ガソリン車:10分/20分、ディーゼル車:15分/30分)経過後は、ドアロック/アンロック機能は働きません。
- 本機でエンジンを始動する直前(セルが回っている間)は、ドアロック/アンロック機能の信号は受け付けません。

リモコンの操作(ドアアンロック)

1 ドア(DOOR)ボタンをインジケーターが点滅するまで押す

2 インジケーターが点滅中(約2秒間)に、アンロック(UNLOCK)ボタンを押す

➜ インジケーターが点滅から点灯(約1秒間)へ変わり、ドアアンロック信号が送信されます。

⚠注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- 本機のリモコンは、ダブルファンクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコンの操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能※を搭載していませんので、リモコンでドアロックした場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。

※ ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドリングを自動的に行うことができます。アフターアイドリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はキーを抜いたあとも、アフターアイドリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ 走行時間が1分以内のときは、ターボタイマーは働きません。

※ ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)
ただし、P・ポジション自動検出ができない車輌でP・ポジションインジケーターランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。
また、ボンネットを開けたとき(ボンネットオープン検出、12ページ)にも停止します。

■ターボタイマー機能の設定

メインユニットのファンクションスイッチで設定します。(6ページ)
設定すると、車のキーをACCまたはOFFにしたとき、自動的にアフターアイドリングになります。

※ アフターアイドリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※ アフターアイドリングが必要ないときは、スイッチユニットのメインスイッチを「OFF」にしてエンジンを停止させてください。(アフターアイドリングを行いません)
また、エンジン停止後は、メインスイッチを「ON」にしておいてください。(OFFのままでは本機でエンジンを始動できません)

■オート方式のアフターアイドリング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドリング時間
1分間〜10分間	約30秒間
10分間〜30分間	約1分間
30分間〜1時間	約1分30秒
1時間〜2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※ ターボタイマー機能のアフターアイドリング時間は、パーキングポジション(P)検出からの時間です。

■アフターアイドリング時間の表示について

アフターアイドリング中は、スイッチユニットのパイロットランプが点滅します。また10秒毎の点滅回数でアフターアイドリングの時間がわかります。

点滅回数/10秒毎	アフターアイドリング時間
1回	約30秒間
2回	約1分間
3回	約1分30秒
4回	約2分間
5回	約3分間

⚠注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。また、設定の解除をするときには、メインユニットのファンクションスイッチのNO.3(6ページ)以外は触れないでください。

※ カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

操作する

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。

症　状	チェック項目	実施項目
操作ボタンを押してもリモコンのインジケーターが点滅しない	・電池が消耗していませんか? ・電池が正しく入っていますか?	・新しい電池と交換してください。 ・正しく電池をセットしてください。(11ページ参照)
リモコン操作でエンジンが始動できない、ドアロック/アンロックできない (インジケーターが点灯する場合)	・スイッチユニットのメインスイッチが「OFF」になっていませんか? ・スリープ機能が働いていませんか?(10ページ参照) ・シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか? ・ボンネットが開いていませんか?(ボンネットセンサーを取り付けている場合) ・室内ランプがドアの開閉に連動していますか?(ドアスイッチへの配線を行っている場合) ・それぞれのコネクターがメインユニットへしっかり接続されていますか? ・メインユニットのファンクションスイッチが正しく設定されていますか? ・P·ポジション自動検出ができていますか? ・車と離れすぎていませんか? ・車のバッテリーが弱っていませんか? ・キー操作でエンジンが始動しますか? ・キーでエンジンを始動していませんか? ・リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか?	・メインスイッチを「ON」にしてください。 ・1度キーでエンジンをかけてください。 ・シフトレバーをパーキング(P)ポジションにしてください。 ・ボンネットを閉めてください。 ・室内ランプを、ドアの開閉と合わせて点灯·消灯するようにしてください。 ・確実に接続してください。 ・正しく設定してください。(取り付け·接続説明書参照) ・一部の車輌では、P·ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP·ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。(接続しないと、本機は動作しません) ・電波の届く範囲内で操作を行ってください。 ・バッテリーを充電するか、新品と交換してください。 ・車の点検をしてください。 ・キーでエンジンを停止、ドアロック/アンロックを行ってください。(キーでエンジンを始動しているときは、安全のため、本機でのエンジン停止やドアロック/アンロックの信号は受け付けません) ・アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。
リモコン操作できる距離が短い	・アンテナがメインユニットにしっかり接続されていますか? ・リモコンのアンテナに手を触れていませんか? ・リモコンの電池が消耗していませんか? ・車とリモコンの間に、障害物がありませんか? ・リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか?	・確実に接続してください。 ・アンテナに手を触れないで操作を行ってください。 ・新しい電池と交換してください。 ・障害物のない場所から操作を行ってください。 ・アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。

本機は取り付け作業時およびエンジンスタート機能やターボタイマー機能が作動しない場合、本機のリモコンを使ってエンジンを始動させる操作をした後や、ターボタイマー機能未動作時にメインユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。
本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
PPP	STリレー接点溶着時、接点溶着を検出したときのみ 接点溶着後にリモコンよりスタート信号を受信したとき
P- P	エンジンスタータ動作中断時 インヒビター検出
P- P P	エンジンスタータ動作中断時 ブレーキ検出
P- P P P	エンジンスタータ動作中断時 ボンネット検出
P- P P P P	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
P- P-	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
P- P- P	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
PPP P	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
PPP P P	ターボタイマー動作中断時 ブレーキ検出
PPP P P P	ターボタイマー動作中断時 ボンネット検出
PPP PPP	ドア制御中断時 ドア開検出

その他

アフターサービスについて

■保証書（別に添付してあります）
保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間
お買い上げの日から１年間です。

●対象部分
機器本体（消耗部品を除く）

■修理を依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は
お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部（添付の一覧表をご参照願います）にお問い合わせください。

■リモコンのスペアについて
リモコンを紛失や破損したときは、スペアのリモコンをお買い求めいただけますが、新しくIDコードを設定するためメインユニットもご持参いただく必要があります。詳しくは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

「取り付け・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
ただし、上記以外の取り付け・接続、使用状態による車の故障や事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕 様

■送信機（リモコン）

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備 （RCR STD-16）
送信周波数	426.0750MHz
電波型式	F2D
送信出力	1mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
使用電池	リチウム電池 CR2032×1
動作温度範囲	−10℃〜+50℃
寸法	29(W)×83(H)×13(D)mm （突起部含まず）
重量	25g（電池含む）

■受信機（メインユニット）

受信周波数	426.0750MHz
電源電圧	12V車専用(DC9〜16V)
消費電流	スリープ時：4mA以下 待機時：約7mA 最大：330mA
動作温度範囲	−20℃〜+60℃
寸法	メインユニット ：136(W)×96(H)×28(D)mm （突起部含まず） スイッチユニット： 20(W)×40(H)×12(D)mm アンテナユニット： 30(W)×18.2(H)×70(D)mm （エレメント部145mm） （ケーブル長：5m）
重量	メインユニット：180g スイッチユニット：34g アンテナユニット：123g

■別売品
オルタネータ線 A-60
（コンライト出力配線をする場合にも使います）
標準価格900円（税別）
ボンネットセンサー A-61
標準価格2,000円（税別）

ユピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS0438-A

ユピテル工業株式会社
YUPITERU

テレコントロールエンジンスターター
VE-E40
ドアロック/アンロック機能付き
取扱説明書

このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車
- 適合する車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック（AT）車
- キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- 12V車で、⊖アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。
- マニュアル（MT）車には絶対に取り付けないでください。
  ギアが入った状態でもエンジンが始動するため、無人で動き出し、死亡、重傷などの重大事故の原因となります。